



ひらどだい

令和2年度 学校だより 10月号 横浜市立平戸台小学校学校長 藤巻 孝之



令和2年度前期が終了します

校長 藤巻 孝之

「中秋の名月」は旧暦の8月15日に見られる月のことで、今年は10月1日がそれにあたるそうです。「十五夜」と言われるのも15日が由来となっています。ただ、満月となるのは翌10月2日だそうです。いずれにしても、晴天を願い、夜空に浮かぶ美しい月を愛でながら心を落ち着かせ、季節の移ろいを感じたいと思います。令和2年度もまもなく折り返し地点を迎えます。

小学校では、今年度から新しい学習指導要領（平成29年告示）による学習がスタートしました。「プログラミング学習」や高学年の「外国語科（英語の教科化）」など、大きな変化について皆さんもご存じかと思います。学習指導要領の改訂は10年ごとに行われているのですが、この10年という単位に大きな意味があります。実は学習指導要領には「10年後の社会（世界）を生きるために必要な力」を身につけるための「学びの地図」（目的、内容、方法など）が記載されているのです。

2カ月もの休業期間がありましたが、子どもたちの前期の学習状況を「あゆみ」としてご家庭にお届けします。「あゆみ」も学習指導要領の改訂を受けて、評価項目（観点）が変わりました。「何を学ぶのか」がより重視され、すべての教科等において

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点

で評価する形となりました。これは学校教育法に掲げられている

「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な**知識及び技能**を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な**思考力、判断力、表現力**その他の能力をはぐくみ、**主体的に学習に取り組む態度**を養うことに、特に意を用いなければならない。」

によるものと考えることができます。

これまで頑張ってきたこと、これから頑張ることについて、「あゆみ」を通じて振り返ったり、目標を立てたりしてほしいと思います。いずれにしても、子どもたちの健やかな成長を願い、将来をたくましく、自分らしく生きる力をはぐくんでいくことが私たちの使命です。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。